

## くじ抽選説明書

郵便入札において、落札者となるべき同額の入札をした者が2者以上あるときは、次の方法によりくじ抽選で落札者を決定する。

### 1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄にあらかじめ任意の数字「000～999」を記入する。なお、記入のない場合などは、書留お問い合わせ番号（11桁）またはレターパックお問い合わせ番号（12桁）の下3桁の数字を記載したものとみなす。

### 2 くじの手順

- (1)書留お問い合わせ番号（11桁）またはレターパックお問い合わせ番号（12桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。
- (2)同額入札の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計額を同額入札者の数で除算し、余りを算出する。
- (3)上記(2)の計算結果による余りと一致した上記（1）の「抽選番号」の入札参加者を落札者とする。
- (4)落札者が契約に応じなければ、上記（3）の「抽選番号」に1を足した数値に相当する「抽選番号」の入札参加者を第2順位とする。なお、その番号が存在しない場合には、「抽選番号」が「0」の入札参加者を第2順位とする。
- (5)第3順位以下は(4)の規定に準じて順位を決定する。

#### 例) 入札参加者3者が同額入札の場合

(1)書留お問い合わせ番号（11桁）またはレターパックお問い合わせ番号（12桁）の下4桁の小さいものから順に「抽選番号」（0, 1, 2, 3, …）を付与する。（※下4桁が同一の数字になった場合は、下5桁目以降高い桁の数字を順次参照する。）

業者名	任意のくじ番号	お問い合わせ番号	抽選番号
A社	123	***-**-**123-4	0
B社	78	***-**-**235-3	1
C社	349	***-**-**438-1	2

(2)くじ番号の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算出する。

$$\begin{array}{r} 1\ 2\ 3\ (\text{A社}) + 0\ 7\ 8\ (\text{B社}) + 3\ 4\ 9\ (\text{C社}) = 5\ 5\ 0 \\ \hline 5\ 5\ 0 \quad \div \quad 3\ (\text{者}) \quad \dots \text{余り} \quad 1 \end{array}$$

#### (3)順位の決定

落札者	業者名	抽選番号	
○	B社	1	余り「1」と一致する抽選番号が落札者
	C社	2	最上位「1」+1=「2」と一致する抽選番号
	A社	0	「2」+1=「3」の抽選番号がないため「0」